

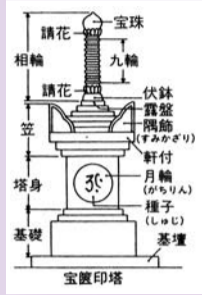
キッズコーナー

小学生、中学生に読んでもらいたい記事を
のせています。読めない字があったら、お
うちの人に教えてもらってね。

私たちの身近な文化財

小川九郎兵衛の墓（その二）

前回お話したように、小平の元となった小川村を開いた小川九郎兵衛は、開発が始まってから14年後の寛文9年（1670年）に故郷の岸村で亡くなりました。市内小川町にある小川寺の墓地に入ってすぐの右手に、小平市の指定文化財（昭和62年3月31日指定、史跡第3号）「小川九郎兵衛墓」があります。実はこのお墓は、九郎兵衛が亡くなってから49年後の享保3年（1719年）に建立されたものです。



〈図1 宝篋印塔〉

しかし、小川村を開き、そこにこの小川寺をお迎えした小川九郎兵衛が、なぜ半世紀近くもお墓を建てられずにいたのでしょうか。

また、このお墓は宝篋印塔という形式です（図1）。この宝篋印塔は、上から「相輪」「笠」「塔身」「基礎」という、4つの部分からなっているのが普通ですが、九郎兵衛の墓は「塔身」と「基礎」の間にもう一つ「塔身」にあたる石が加わって、5段になっており、またその「塔身」は他の4つとは違う石でできています。どうしてこ

のような形のお墓なのでしょう。これらの秘密を解く鍵は、違う石でできた4段目の塔身に隠されていました。この石の正面中央には九郎兵衛の戒名（人が亡くなった時に僧侶などにつけてもらう、仏の弟子としての名前）の「月窓院山叟宗雪居士」と、その左右に亡くなった日付「寛文九己酉年」「十二月十七日」が、周囲の縁の上部中央には「地」の字が彫られています（図2）。またこの石の右、左、裏の3面には九郎兵衛の功績やお墓の由来がびっしりと刻まれています（図3）。



〈図2 塔身正面の戒名と「地」の拓本〉

それによれば、故郷の岸村で亡くなった九郎兵衛は、地元の菩提寺（自分の先祖代々が祀られたお寺）である禅聖寺に葬られ、分骨されたお骨が小川寺にも納められました。この分骨されたお骨を祀るために、49年後の五十回忌の時に、孫の小川弥一が建立したのが小川寺にあるお墓だったのです。また、このお墓は宝篋印塔に石を加えて五輪塔としたことも記されています。五輪塔は仏教で万物を成り立たせるとされる五つの要素（五大）の「地・

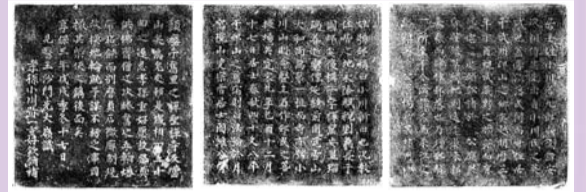
水・火・風・空」を象った日本独特の石塔の形式で、下から方形の地輪、球形の水輪、屋根形の火輪、半球形の風輪、宝珠形の空輪の5つの部分からなります（図4）。

4段目に加えられた塔身の正面の縁には「地」の字が刻まれていましたが、最近の調査で、その上の元の塔身に「水」、笠に「火」、相輪の下部に「風」の字が刻まれていることもわかりました。相輪の上部は風化してしまって「空」の字を見ることはできませんでしたが、この宝篋印塔が五輪塔に見立てられたことを裏付けるものと考えられます。

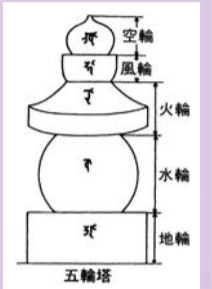
現在の武蔵村山市には、今では名が禅昌寺になっていますが、旧岸村時代からの禅聖寺があり、そこに小川九郎兵衛の直系の子孫である（岸村）小川家の現在の墓所があります。墓所の一角には古い石塔が5基並んでおり、住職に伺うと、そのうちのひとつが小川九郎兵衛の墓だとのこと（図5）。風化が進んでしまっていて、それがどれかはわからないそうですが、小川寺のお墓よりも半世紀近く前の、九郎兵衛が亡くなった時に建てられたもう一つ



〈図5 武蔵村山市の禅昌寺にあるもう一つの小川九郎兵衛の墓（このうちのどれか）〉



〈図3 塔身の右面(左)、裏面(中)、左面(右)の文字の拓本〉



〈図4 五輪塔〉

のお墓が、武蔵村山市にあったのです。また、真ん中の3つを見ると、宝篋印塔に一つ石が加わった形になっています。旧岸村地域の習慣なのか、岸村小川家に伝わる習慣なのかはわかりませんが、小川寺にある九郎兵衛の墓だけが特別なものではなかったこともわかります。

このように、小川寺にある小川九郎兵衛のお墓には、いくつもの秘密が隠されており、そのお墓をよく調べてみることで、これを解き明かすことができたのです。



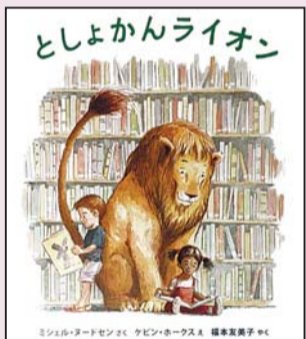
秋のおすすめ本



この秋、図書館が皆さんにおすすめしたい本を3冊選びました。図書館で読書の秋を楽しみませんか。

『としょかんライオン』

ミシェル・ヌードセン作 ケビン・ホークス絵 福本友美子訳 岩崎書店



図書館は誰でも入れるところ。ある日、町の図書館にライオンがやってきました。やがてライオンは、館長の手伝いやおはなし会に参加することで、みんなと仲良くなっていきました。しかし、ある理由からライオンは吠え、図書館のマナーを破ってしまうのです。その理由とは一体？

『絶体絶命27時間！』

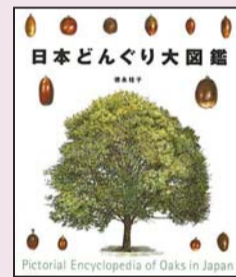
キース・グレイ作 野沢佳織訳 徳間書店



転校してきたばかりのジョンは、高校で盗みの濡れ衣を着せられてしまう。翌日の昼までに無実を証明しなければ退学させられてしまうことになった。ジョンに罪をかぶせたのは全校生徒に恐れられている不良グループだ。ジョンは27時間以内に自らの身の潔白を証明できるのか？

『日本どんぐり大図鑑』

徳永桂子著 北岡明彦監修・解説 偕成社



秋の公園を訪れると、どんぐりがたくさん落ちています。この本では、アラカシやクヌギなどの日本のどんぐり30種類と、外国のどんぐり10種類、合計40種類のどんぐりがボタニカルアート（細密画）で描かれています。実と葉は実物と同じ大きさです。眺めるだけでも楽しいですが、どんぐりを拾ってきて、この図鑑と見比べながら種類を調べると、また違った楽しみ方ができるかもしれません。

小平市 平櫛田中彫刻美術館

企画展 「心のふるさと井原 一井原市立田中美術館コレクション」

平櫛田中の故郷・岡山県井原市には、田中の生前に開館した井原市立田中美術館があります。展覧会では平櫛田中の故郷井原への思いを、田中美術館所蔵の彫刻作品や関連資料を中心に紹介します。

とき 9月11日(水)～11月17日(日)
午前10時～午後4時

休館日 火曜日

※11月18日(月)は展示替えのため休館します。

観覧料 一般…300円(220円)

小・中学生…150円(110円)

※カッコ内は、団体20人以上です。

※駐車場はありません。お車をご利用の方は美術館へお問い合わせください。

●期間中のイベント

◆ルネこだいら出前コンサート「長唄三味線と尺八・笛の多彩な世界」

平櫛田中彫刻美術館を会場に、長唄三味線と尺八・笛の多彩な世界をお楽しみください。



井原市立田中美術館蔵 「姉ごころ」



とき 10月26日(土)
1回目 午前11時～11時30分
2回目 午後1時30分～2時

参加費 無料(別途、観覧料が必要です)

◆秋のお茶会&菊展示

とき 11月1日(金)～3日(日)

午前10時～午後3時

参加費 お茶席代300円(別途、観覧料が必要です)

◆秋のわくわく体験美術館ウィーク

とき 10月26日(土)～11月4日(月)

※期間中、小・中学生は無料で観覧できます。(同伴の保護者の方は観覧料が必要)

問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098



小・中学生が広島平和記念式典に出席しました

8月5日(月)から6日(火)までの1泊2日で小・中学生広島平和学習を行いました。市内の小学生1人・中学生9人が、広島を訪問して原爆ドームなどを見学したり、平和記念式典に出席することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えてきました。

また、8月17日(土)に行われた、被爆体験者に経験談を語っていただく講演会の中で、子どもたちが広島平和学習の報告を行いました。(地域学習支援課)

